

2010年6月1日

各位

オリックス不動産株式会社

『みなとみらいセンタービル』開業 ～ CASBEE 横浜「S」ランクを取得した複合オフィスビルが竣工～

オリックス不動産株式会社(本社:東京都港区、社長:山谷 佳之)、大和ハウス工業株式会社(本社:大阪府大阪市、社長:村上 健治)、株式会社ケン・コーポレーション(本社:東京都港区、社長:田中 健介)の3社が共同で推進してきました『みなとみらいセンタービル』が竣工し、本日開業しますのでお知らせします。

『みなとみらいセンタービル』は、時代の先を行く充実したインフラ環境や、国内外へのスムーズな移動を可能にする交通ネットワークを持つ「みなとみらいエリア」に誕生します。2009年6月にCASBEE 横浜認証制度で最高位の評価「S」ランクの認証を取得しており、高い環境性能と快適性を兼ね備えた複合オフィスビルです。

～ 建物外観～



～ T-soleil (採光システム)～



【『みなとみらいセンタービル』の主な特徴】

1. ロケーション

『みなとみらいセンタービル』が誕生する「みなとみらいエリア」は 21 世紀にふさわしい未来型都市を目指し、緻密な都市計画に基づき、環境・防災・景観に配慮されたエリアです。本社誘致をはじめとした企業集積も進み、ビジネス拠点としての役割は高まる一方です。

2. 交通アクセス

『みなとみらいセンタービル』は、みなとみらい線「みなとみらい」駅に直結し、天候に左右されない抜群のアクセス環境を誇ります。また、都心部や羽田・成田両空港への交通網も充実し、ビジネス拠点として国内外を問わず快適な交通アクセスをお約束します。

3. 商業エリア

ビル低層部の1階から3階までを商業フロアとし、賑わいの創出とワーカーの利便性向上に役立っています。

4. オフィスエリア

最新の壁柱構造を採用し、柱型の無い1フロア1,000坪強の大規模無柱オフィススペースの提供を可能にしました。

天井高は2.95mを確保し、フレキシブルなレイアウトニーズに対応可能なグリッド天井を採用することにより、入居工事費と資源の節約に貢献します。

さらに、24時間防災センターに警備スタッフが常駐するきめ細かい有人監視や、パッシブセンサーと非接触ICカードによる入退室システムの採用など、万全のセキュリティを備えています。

5. 環境性能

CASBEE 横浜(横浜市の建築物総合環境性能評価システム)で、最高位の評価「S」ランクの認証を取得しています。

(『みなとみらいセンタービル』の環境への取り組み)

ビル屋上から採り入れた自然光を、3階オフィスエレベーターホール床面まで照射できる採光システム(T-soleil)を導入することにより、共用部照明電力削減を実現。

エコボイド(吹き抜け)の煙突効果を利用して自然排気を行い、エネルギーコストの低減を実現。

Low-e ガラスやきめ細かいVAV(可変風量装置)を採用し、優れた温熱環境を実現。温冷熱を集中的に製造・供給・管理してエネルギーを効率的に供給する地域冷暖房を導入し、熱とCO₂の発生低減を実現。

総面積3,000坪におよぶ敷地を生かした800坪のリビングガーデンと屋上に配された豊かな緑により、ヒートアイランド防止に寄与。また、植物への散水には雨水を利用。

免震および制震を組み合わせた構造システムの導入により、建物の耐久性を向上すると共に、優れた遮音環境、床振動の低減を実現。

以上

< 本件に関するお問い合わせ先 >

オリックス不動産株式会社 社長室 永井・中村

TEL : 03-3435-3411

Press Release



<ご参考>

『みなとみらいセンタービル』概要

所在地：神奈川県横浜市西区みなとみらい三丁目6番1号(住居表示)

設計・監理：大成建設株式会社 一級建築士事務所

施工：大成建設株式会社 横浜支店

監修：株式会社日本設計

竣工日：2010年5月15日

開業日：2010年6月1日

敷地面積：10,131.57㎡(3,064.79坪)

延床面積：95,220.30㎡(28,804.14坪)

建物構造：鉄筋コンクリート造、鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造

階数・高さ：地下2階、地上21階、約100m

(うち、オフィスエリアは4階から21階)

工期：2007年9月1日～2010年5月15日

フロア構成概念図

